

3位入賞のトロフィーを持つ秀峰チームの小林君、百瀬君、山本君(左から)



小中学生・高校生のロボットコンテスト全国大会「ワールドロボットオリンピックJAPAN決勝大会」がこのほど東京都内で開催され、中学生の部に県代表として出場した松本秀峰中等教育学校2年生の3人チームが3位に輝いた。(北原 哲)

秀峰 全国ロボコン3位

位となった。

競技はプログラムで自動制御した自作のロボットを使う。くねくねしたコースをたどり、円柱やブロックのおもちゃなどを所定の位置に運ぶ正確さを競う。中学生の部には各地の予選を勝ち抜いた16チームが参加し、課題を完璧にこなして満点となるチームが複数あった。秀峰チームも満点だったが、タイム差で3

競技はプログラムで自動制御した自作のロボットを使う。くねくねしたコースをたどり、円柱やブロックのおもちゃなどを所定の位置に運ぶ正確さを競う。中学生の部には各地の予選を勝ち抜いた16チームが参加し、課題を完璧にこなして満点となるチームが複数あった。秀峰チームも満点だったが、タイム差で3

中学生の部には課題が比較的簡単な「ミドル競技」、より難しい課題に挑む「エキスパート競技」のカテゴリーがあり、秀峰のチームは今回、ミドルに出場した。来年は世界大会にもつながるエキスパ

2年生の3人チーム

来年は世界大会目指す

どり、円柱やブロックのおもちゃなどを所定の位置に運ぶ正確さを競う。中学生の部には各地の予選を勝ち抜いた16チームが参加し、課題を完璧にこなして満点となるチームが複数あった。秀峰チームも満点だったが、タイム差で3

ートへの出場を目指している。メンバーの小林幸太郎君(13)、百瀬公多朗君(13)、山本遼君(14)は「今年は持っている力を出し切れた。来年は世界大会を目標に頑張りたい」と声をそろえ、意気込んでいる。